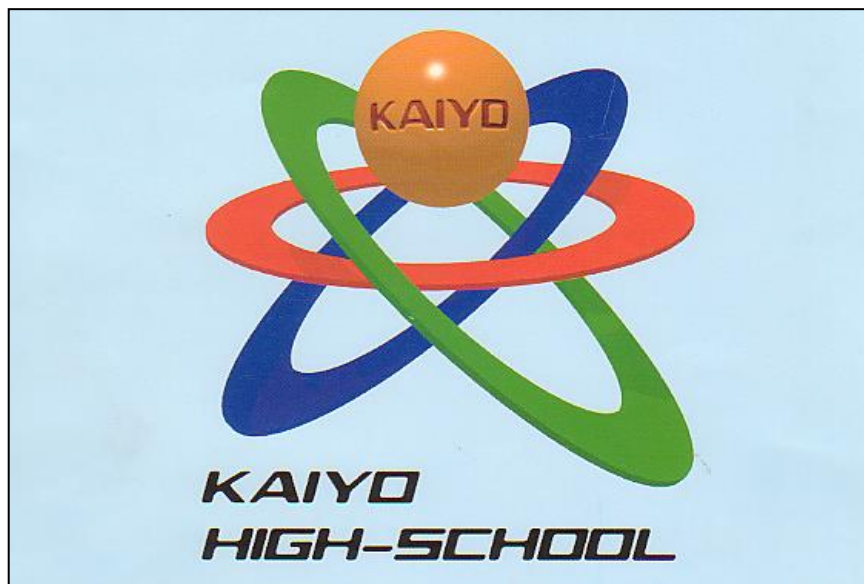


「夢・実現」へのマニュアル

進学のための

# 「志望理由書」の書き方



鹿児島県立開陽高等学校  
全日制課程進路指導部編

## ◆ 「志望理由書」とは？

「志望理由書」とは、学校推薦型選抜・総合型選抜入試を受ける際に志望先に提出する書類のことです。それには文字どおり「なぜ志望するか」の理由を書きますが、志望先の学校はそこに書かれた内容を読んで、受験者が基礎的な教養を身につけているか、潜在的な資質や適性・可能性・個性が学校のアドミッションポリシー(学校が求める人物像)に適合しているかどうかを判断する材料とします。また、みなさんにとって「志望理由書」は、自分をアピールする最初のチャンス。効果的に使えば、合格への強力な見方になります。

## ◆ どんな「志望理由書」がよいのだろう？

ポイントは、ズバリ！相手の心を動かすこと。志望する学校に入りたいという積極的な意欲や熱意を表すことが大切です。

## ◆ 「志望理由書」は面接対策にも思わぬ効果

学校に提出する書類の中で、唯一自己アピールできるのが「志望理由書」です。みなさんを総合的に判断する資料として調査書以上に重視する学校も多く、面接ではその内容にふれた質問がなされます。そのため「志望理由書」は、書き方によって面接の決め手にもなり、思わぬ効果をもたらします。

「志望理由書」に“人の気持ちを動かす感動的な話題や共感をよぶ考え”を書けば、面接官は質問しなくなります。そうなれば面接官の質問を自分の答えやすい、得意な方向に誘導することもできるでしょう！ 提出する「志望理由書」のコピーをとって、面接前には必ず読み返し、どんな質問をされるのかを想定して、回答を考えておきましょう。

### 「志望理由書」を書くときに気をつけること

#### <学校推薦型選抜（公募）>

「志望理由書」を上手に書くと、他の提出書類の評価をランクアップさせる効果があります。

- ① 評定値が高くなくても、気にしないで自由に書く。
- ② 推薦書の内容とあまりかけ離れないようにする。(先生から推薦書について話を聞くこと)
- ③ 長所をアピールするときは、できるだけ一つに内容をしぼる。
- ④ 専願、併願可能校にかかわらず、第2志望校はなく、その大学の学部だけを受験する姿勢を示す。
- ⑤ 高校の授業以外で行った諸活動の実績をアピールする。
- ⑥ 志望校のカリキュラム・シラバスを把握して、その内容に合わせた書き方をする。

#### <学校推薦型選抜（指定校）>

前年度の先輩の合格報告書を見たり、先生から学校についての情報を聞いて、対処しよう。

#### <その他の選抜>

得意分野や特別活動の実績を評価する入試ですから、「志望理由書」には、その項目での経験や活動をできるだけポイントをしぼって具体的に書くのが、高い評価を得るコツです。

志望校の学部・学科と自分の経験・活動をどのように結びつけて書くのかも大切です。

※総合型選抜・・・「なぜ、この大学に入りたいのか」、「何を勉強して将来は何をめざすのか」など、思いを強くもって自分をアピールします。読む人の「心を動かす(感動させる)」よう、明確な表現を用いて自信を持って書こう。

## 文章を書くためのテクニック

### **文体を統一しよう！【だ・である】【です・ます】のどちらかに統一する**

文章の調子が、バラバラにならないように文末を【だ・である】、【です・ます】のどちらかにそろえて書きましょう。

(例) 私は、貴学の工学部・システム工学科を志望している。将来の夢は、ロボットを設計する仕事に就くことです。私の作りたいロボットは、人間と自由におしゃべりができるロボットだ。もちろん、重い荷物を運んだり、買い物をしたりもできるのです。

(書き換え例) 私は、貴学の工学部・システム工学科を志望しています。将来の夢は、ロボットを設計する仕事に就くことです。私の作りたいロボットは、人間と自由におしゃべりができるロボットなのです。もちろん、重い荷物を運んだり、買い物をしたりもできるのです。

### **文末の「と思う」「と考える」に注意！ 「～と思う」「～と考える」はくり返し使わない**

文章を終えるときに、「～と思う」「～と考える」という表現をよく使いますが、同じ表現を続けて何度も使わないようにしましょう。同じリズムの文が続くと、単調になって文章の魅力がなくなってしまいます。

(例) 私の高校生活は、とても充実した日々だったと考えています。その理由は、二つあると思います。ひとつは生徒会活動で、これまでになかった新しいボランティア活動を地域の人たちと協力して立ち上げたことが大きかったと思いますし、もう一つは毎日15分間苦手だった英語を勉強して自分なりに成績を上げることができたことがよかったと思います。

(書き換え例) 私の高校生活は、とても充実した日々でした。その理由は、二つあります。ひとつは生徒会活動で、これまでになかった新しいボランティア活動を地域の人たちと協力して立ち上げたことが大きな理由ですし、もう一つは毎日15分間苦手だった英語を勉強して自分なりに成績を上げることができたからです。

### **原則は“ひとつの文にひとつの内容”** ひとつの文に“ひとつの内容”を書く

ひとつの文の中に、いくつもの内容が盛り込まれていると、言いたいことは伝わりますが、文章が長くてスッキリしません。【ひとつの文に、ひとつの内容】を書くように心がけましょう。

(例) 高校生活の中でいちばん印象に残っていることは、サッカー部で県大会に出たことで、仲間たちと目標に向かって練習した日々は本当に苦しくて、そのときは何度もやめたいと思いましたが、いま振り返ると苦しかった分だけ、とても大切な思い出になっていて、私はその思い出をたいへん誇りに感じるようになりました。

(書き換え例) 高校生活の中でいちばん印象に残っていることは、サッカー部で県大会に出たことです。仲間たちと目標に向かって練習した日々は苦しくて、そのときは何度もやめたいと思いましたが、いま振り返ると苦しかった分だけ、とても大切な思い出になっています。私はその思い出をたいへん誇りに感じるようになりました。

※ “印象に残っていること”，“その理由”，“いまの私の気持ち”の三つの内容にしましょう。



## 「志望理由書」の書き方

### ◆ 自分を徹底分析しよう！ 【補助シート①を利用しよう。】

自分自身がどんな人間かを知ることによって、学校に対して効果的に自分をアピールできます。能力や適性、過去の経験や実績など、いろいろな角度から徹底的に自分を分析してみましょう。

【書き方例】

私は、人と話すことが好きです。たとえば、私は同じ年代の人だけではなく、年下や年上の人ともすぐに打ち解けて話すことができます。誰かと話すことが楽しいのです。コミュニケーション学部を志望したのは、そうした自分を生かし、今よりもっとすてきな人間関係を作りたい、将来は人間関係を生かした仕事をしたいからです。

POINT: 「どんなふうに」人と話すのが好きなのかを分析する。

### ◆ 学校を徹底分析しよう！ 【補助シート②を利用しよう。】

学校案内のほか、体験学習やオープンキャンパスを利用して、あらゆる情報を集めてチェックしましょう。とくに「どんな人材を欲するか」、「どんな人材を育成するのか」を示す大学の建学精神やアドミッション・ポリシーは念入りに調べよう。自分との相性を知る重要な手がかりになります。

私は、貴学の「社会に貢献できる人材を育てる」という建学精神をたいへん素晴らしいと思います。そこで「社会に貢献する」ということを、自分が興味をもっている建築分野の中で考えてみました。もし私が貴学のデザイン工学科の建築コースで学ぶことができたなら、私は、将来、ユニバーサルデザインを取り入れた建物をたくさん設計し、子どももお年寄りも、障害をもつ人ももたない人もすべての人が気持ちよと感じる場所をたくさん作り、喜んでもらいたいと思います。

POINT: 志望校の「建学精神」について、自分なりに真剣に考え、その姿勢をアピールする。

### ◆ 書く内容のポイントをしぼろう！ 【補助シート③、④を利用しよう。】

自分の分析、そして志望する学校の分析ができて、そのすべてを「志望理由書」に書くことはできません。自分と学校が、どこでどんなふうに結びつくのかを整理して、いちばん効果的に自分をアピールするポイントに焦点を当てて、文章の流れを作ってみましょう。

ポイントをしぼらずに、いろいろなことを盛り込んでしまうと、読む人にインパクトを与えられず、言いたいことが十分に伝わらなくなってしまいます。欲張るのは禁物です。

### ◆ わかりやすく具体的に。体験なども盛り込もう！

パンフレットに書いてある言葉や、どこかで見たり聞いたりした言葉を、ただ書き写すようなことはやめましょう。自分で考えたり感じたりしたことではなければ、どんな言葉にも説得力はありません。具体的に、志望理由につながる体験や考えを書いたり、学校の良いと思うところをあげて書くように心がけましょう。「なにが」、「なぜ」、「どのように」と、物事を分析し考える習慣をつけて、自分の言葉でわかりやすくアピールをしましょう。

私は、貴学を見学して「人に優しい学校」という印象を持ちました。ボランティアとして地域の清掃活動に参加している点はもちろんですが、学習している先輩方の表情がとても明るく、私に笑顔で声をかけてくださいました。そうしたことから気持ちよく学習することができる学校、人を大切にしている優しい学校だと思ったのです。

POINT: いろいろなことを列挙するのではなく、焦点を絞る。体験などを織り交ぜて具体的に書く。

#### ◆ 意欲はストレートに。誇張のしすぎはダメ！

意欲をアピールするために、大げさな表現を使ったり、知識のあるところを見せようと無理をしたりはしないこと。真実味がなく、かえってマイナスです。等身大の自分を大切にして、素直な気持ちで意欲をストレートに伝えましょう。

「志望理由書」を読む学校の人たちは、完成されているみなさんを見たいのではなく、高校生らしい人、素直に知識・技能を吸収する資質を持つ人、将来の可能性を感じられる人に好感を持つことを忘れないようにしましょう。

私が貴学の工学部を志望したのは、工学部の教育に興味を引かれたからです。実験や実習が他大学の時間に比べて多く、教えてくださるのは日本の工学をリードする先生方です。そのような先生方と一緒に考えたり研究をお手伝いしたりすることができたら、とても楽しいと思います。私はとくにコンピュータにかかわる「情報工学」の分野に興味があるので、鈴木一郎先生の講義を受けることを、とても楽しみにしています。

POINT: 自分のボキャブラリーを使って、素直に書こう。

#### 推薦入試の「志望理由書」攻略ポイント

##### ① 何を学びたいのか？

学びたい学問については、とくに書くポイントをしばり、情報収集で得た事柄を(A教授のゼミへの興味、B専攻で将来こんな論文を書きたい、シラバスのここに興味を覚えた)など、具体的にオリジナリティのある内容を盛り込むと高く評価されます。

##### ② 卒業までにどんな自分を実現するか？

##### ③ 大学を卒業後、将来どのような活躍をしたいか？

##### ④ 大学の求めるアドミッション・ポリシーとどんなふうにマッチしているのか？

大学の求めるアドミッション・ポリシーとともに、教育方針、建学精神などの理解は必須です。

上記の4つの内容をアピールするには、もちろんそれらの考えにいたったキッカケや理由がきちんと書かれていなければなりません。自分をアピールすることに夢中になって、ひとりよがりの文章にならないように注意しましょう。客観的な視点を大切にして、なおかつ読む人に興味を覚えさせ、「合格させたい」と思わせるように意欲をストレートに表現しましょう。

アドミッション・ポリシーとは:「将来に明確な目標をもつ人」「本学の伝統や教育を理解する人」「経営のエキスパートをめざす人」のように、大学や学部・学科等が、どのような人物を望むのかを示したもの。かなり具体的な場合もあれば、抽象的な概念を述べていることもあります。よく理解したうえで受験を決めましょう。

# 「自分を知る」

## 補助シート①

(1) 各カードのテーマに合わせて自分を分析し、書き込んでみましょう。何も思い浮かばない場合は、そのままにしておきましょう。

(2) 各カードに書いたことで、関連のありそうなものを例で示したように線でつないでみましょう。

———— つながる      ===== プラスに働く      ----- マイナスに働く

※ たとえば、【性格】の「例）やさしい」は、【興味のある仕事】「例）社会福祉士」に生かすことができるので、【つながる】の線または【プラスに働く】の線で結ぶことができます。

(3) 「なぜ？」「どんなふうに？」「どんなところが？」・・・・・・を大切に！

各カードの下にある※印の質問を参考にして、自分が書いたことを具体的に、そして冷静に分析してみましょう。「志望理由書」を書くときや面談・面接時にその分析が役立ちます。

<p><b>【自分の性格／長所・短所】</b>                  〈長所〉例) やさしい                   〈短所〉例) あわてもの</p> <p>※なぜ長所なのか、なぜ短所なのか</p>	<p><b>【学力／能力・特技】</b>                  〈得意な科目〉                   〈苦手な科目〉                   〈自慢できる能力・特技〉</p> <p>※伸ばしたいのは、どの学力や能力？</p>	<p><b>【印象的な出来事・人】</b>                  例) ボランティア活動</p> <p>※そのことに対して、どんな気持ちだろう？</p>
<p><b>【興味のある学校】</b>                  例) 福祉系の大学</p> <p>※具体的に決まっていなければ、分野や系統は？</p>	<p><b>【興味のある仕事・職種】</b>                  例) 社会福祉士</p> <p>※どんなところに興味があるのだろうか？</p>	<p><b>【好きなこと／趣味】</b></p> <p>※なぜ？どんなところが好きなのだろうか？</p>
<p><b>【進路に対する保護者の考え】</b></p> <p>※進路について、話し合ってみよう。</p>	<p><b>【将来の夢・希望】</b></p> <p>※その夢や希望は、どうして生まれたのだろうか？</p>	<p><b>【高校時代の主な活動】</b></p> <p>※そのことに対して、どんな気持ちだろう？</p>

# 「志望校を研究する」

## 補助シート②

各カードのテーマに沿って、学校について研究し、要点を書いてみましょう。

※書き入れた学校の項目について、自分でとても魅力的に感じるものに「○」、どちらかといえばよいと思うものに「△」をつけてみましょう。

### 【設立年・建学精神】

<設立> _____ 年
<建学精神>
他大学との比較

### 【教育理念・方法】

<学校>
<学部>
<学科>
他大学との比較

### 【学長・教授・教員】

<学長> _____ 先生
専門 _____
<学部> _____ 先生
専門 _____
他大学との比較

### 【教育内容・カリキュラムの特徴】

他大学との比較

### 【キャンパス】

<場所>
<雰囲気>
<寮>
他大学との比較

### 【施設・設備】

他大学との比較

### 【学生(先輩)の様子・コメント】

他大学との比較

### 【取得できる資格】

他大学との比較

### 【卒業後の就職先・就職率】

他大学との比較

### 【学費・奨学金】

<学費>
<奨学金>
他大学との比較

### 【選考方法】

他大学との比較

### 【その他】

--



## 「自分を知る」

## 補助シート③

下線の部分に言葉を入れて、自分を分析してみましょう。

- 私の長所は、 \_\_\_\_\_ である。それは、  
たとえば \_\_\_\_\_ のようなときに生かされている。  
また、私の短所は、 \_\_\_\_\_ だが、それ  
を直すために \_\_\_\_\_ しようと考えている。  
短所もプラス思考で考えれば、 \_\_\_\_\_ という  
よい面としてとらえることができるので、プラスに働くように \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ 努力したい。
- 私は、 \_\_\_\_\_ が大好きである。  
\_\_\_\_\_ というのがその理由だ。  
好きになったきっかけは \_\_\_\_\_ である。
- 私は、将来 \_\_\_\_\_ をめざしたい。  
それは、私の \_\_\_\_\_ などころが  
活かせるからだ。そのために私は \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ を一生懸命学びたいと思う。
- 私は、 \_\_\_\_\_ の仕事に興味がある。  
なぜなら、 \_\_\_\_\_ だからである。  
もし、その仕事をするとしたら、私はプロフェッショナルとして、 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ を心掛けてがんばるつもりである。
- 進学する学校を選ぶときに、私がいちばん重視したいのは、 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ である。なぜなら、  
\_\_\_\_\_ だからである。
- 高校生活の中でいちばん感動したことは、 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ である。  
\_\_\_\_\_ に感動したからだ。  
そのときの私の気持ちは、 \_\_\_\_\_  
だった。そのことから私が学んだのは、 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ ということである。



# 「志望理由書」基本パターン

## パターン1

希望や意志をはっきりと提示するところから入るパターンです。

### (1) 希望・意志を提示する

- ① 「将来〇〇になりたい」, 「貴学の〇〇学科で学びたい」と提示
- ② その理由, きっかけとなったできごとを説明
- ③ 希望・意志の具体的なイメージを説明

### (2) 学校・学科の魅力を述べる

(1)の希望・意志を実現に導く学校・学科の魅力など

### (3) 将来の展望にふれる

- ① 大学生活でしたいこと, 学びたいことなど
- ② 大学卒業後の仕事への意欲, ライフスタイル, 人生観など

## パターン1の組立例

- (1)① 私はツアーコンダクターになるために, 貴学の観光学科で学びたいと考えています。
- ↓
- (1)② ツアーコンダクターをめざしている理由は, 人一倍好奇心が強く, 身体を動かすことが大好きな私にぴったりの仕事だと思っからです。また, 両親が旅行好きで, 幼い頃から夏休みや冬休みに日本各地に出かけていたこともあり, いつしか日本だけではなく, 海外のさまざまな国に行ってみたい, 感動したいと思うようになりました。そして, その感動を大勢の人と分かち合いたいのです。
- ↓
- (1)③ そのため私は, 自分で旅を企画して, すばらしい観光ポイントや宿泊施設を見つけ, 参加してくれる多くの人々に旅の喜びを提供できるようなツアーコンダクターになりたいのです。
- ↓
- (2) 貴学の観光学科を志望したのは, 幅広く観光や文化について学べる講義を設けているところに魅力を感じたからです。海外で観光について学べる留学プログラムも充実しています。貴学でなら, きっと私が望むことが学べると確信しています。
- ↓
- (3)① もし貴学に入学することができたなら, 私はできるだけたくさん講義を受けることはもちろんですが, アルバイトやクラブ活動にも積極的に挑戦して, 人とふれあうことを学びたいのです。
- ↓
- (3)② そして, 将来ツアーコンダクターとなったときに, それらの経験を生かしたいと思います。

**書き方例** 【〇〇大学 体育学部 スポーツ健康学科】

私は、大学を卒業したら体育の教師になって、スポーツの楽しさや厳し  
さ、スポーツには柔軟な考えを持つことが大切なことを伝えたいと考  
えています。

きっかけをくださったのは、中学のときに出会った体育の先生です。  
小学校のころからバスケットボールに熱中していた私は、中学でもバス  
ケットボール部に所属し、練習を休んだことも、休みたいと思っ  
たこともなく、全国大会をめざして毎日バスケットのことばかりを考  
えていました。ところが、あと1か月で大会という時に、足を骨折してしま  
ったのです。大会への出場は絶望的で、松葉杖で通学しなければならない状  
況でした。そんな状況を受け入れることができず、落ち込んでいた私に  
声をかけてくださったのが、顧問でもあった体育の先生です。先生は、  
「どんな状況でもできることをやれ」と、部活動に来るように何度も誘  
ってくださったのです。

結局、私は、後輩に指導をしたり、コートの外から練習を応援したり、  
上半身を鍛えたりするようになりました。そして4か月後に復帰したと  
きには、鍛えた上半身でボールが楽に扱えるようになっていました。も  
し、あのとき先生が声をかけられなかったら、そんな成果は得ら  
れなかったでしょう。私は先生に感謝すると同時に、状況を柔軟にとら  
えて対処することの大切さを知ったのです。そして、いつしか自分も先  
生のようになりたいと考え始めていました。

貴学を志望したのは、体育学におけるコーチングを学びたいからです。  
コーチング理論を身に付ければ、将来、体育の教師やクラブの顧問とし  
て仕事をする際に、生徒たちの能力をより多く引き出すことができ、的  
確なアドバイスができるのではないのでしょうか。また、コーチングは、  
アスリートだけではなく、様々な状況における個人に応用できる技術で  
あるとも思います。

学校案内のカリキュラムを見て、早く学びたいと期待が一層膨んでい  
ます。是非貴学で夢を実現させたいと切に考えています。

# 「志望理由書」基本パターン

## パターン2

冒頭で問題提起し、志望する学部・学科に関する社会的な背景などを踏まえて、自分がどのように考えるのかを前面に押し出し、アピールするパターンです。

### (1) 問題を提起する

- ① 「現代社会において〇〇は大きな問題だ」, 「〇〇について私は強い関心をもっている」などの文章で書き出す。
- ② 関心を持つに至った理由、実際の社会状況や問題などについて述べる。

取り上げる問題については、新聞やニュース、インターネットなどを使って、あらゆる情報を集めて、それらを理解した上で、文章の構成を考えること。

### (2) 自分の考えを述べる

(1)の状況に対して、自分がどうすべきであると考えているかを述べる。

### (3) 学校・学科で学びたいこと、志望大学の魅力を述べる

(1)(2)に関連して、大学で何を学びたいのかをできるだけ具体的に述べる。その大学の魅力についてふれる。

### (4) 将来の展望を述べる

大学生活への抱負、取り上げたい問題に関する自分の将来像などを述べる。

## パターン2の組立例

- (1)① 地球温暖化について、私はとても心配しています。
- (1)② きっかけは、テレビでツバル島のドキュメンタリー番組を見たことでした。ハワイとオーストラリアの間にあるその小さな島は、海拔が1メートルもなく、地球温暖化で南極などの氷が溶けることにより海面が上昇してしまうと、あっという間に沈んでしまうということでした。その危機のため、ツバル島の人々は、生まれ育った島を離れ移住しなければならないのです。海に沈むのはその島ばかりではありません。日本でも砂浜の8割がなくなってしまうのではないかと予想されています。
- (2) この番組を見て、私はたいへんショックを受けました。地球温暖化という言葉は以前から知っていましたが、それは自分とはまったく関係のないことだと思っていたのです。しかし、実際にツバル島の人たちが困っている声をテレビを通して聞いたことで、自分のこれまでの無関心ぶりを反省すると同時に、私に何ができるのだろうか、何かの役に立つことはできないのだろうかという気持ちになってきたのです。
- (3) 以来、私はインターネットなどで情報を集めて、自分なりに地球温暖化や環境問題について考えてきました。そして、もっと深い専

門的な知識を身に付けたいと、大学ではこのことをテーマに学ぼうと決めたのです。

貴学を志望したのは、環境学部の中でそれらの問題についてじっくりと学べるカリキュラムが、整っているからです。環境問題、とくに地球温暖化問題を専門として、さまざまな研究を発表しているA先生の存在も大きな魅力でした。

- (4) ぜひ、貴学に入学して、A先生から教えるとともに、自らの研究テーマを明確にして、より深く学んでいきたいと考えています。

### 書き方例 【〇〇大学 社会福祉学部 人間福祉学科】

50年後、私は68歳になります。そのとき、日本はどんな社会になっているのでしょうか。福祉は充実しているのでしょうか。世界に類を見ないスピードで高齢社会になっている日本の現状を考えると、少し不安になります。

いま私は神奈川県に住んでいますが、母方の祖母は富山県で一人で暮らしています。両親は一緒に住もうと言うのですが、祖母は生まれ育った土地を離れたくはないようです。しかし、電話をして連絡がとれないと、母も私も心配になります。それは、以前、阪神淡路大震災に遭われたお年寄りの中に、住んでいた家や街が倒壊し、マンションに一人暮らしをするようになって、孤独に亡くなっていった方がいると聞いたからなのかもしれません。

私は、生まれた土地で暮らしたいと考える祖母を尊重したいですし、これから増えていく一人暮らしの高齢者の方々を応援したいと考えています。そのためにも日本の社会は、高齢者の個性を発揮できるコミュニティをつくったり、仕事の間や高齢者専用の連絡網をつくったり、年金制度をはじめ、さまざまな制度を充実させる試みをスピードアップして行うべきだと考えています。

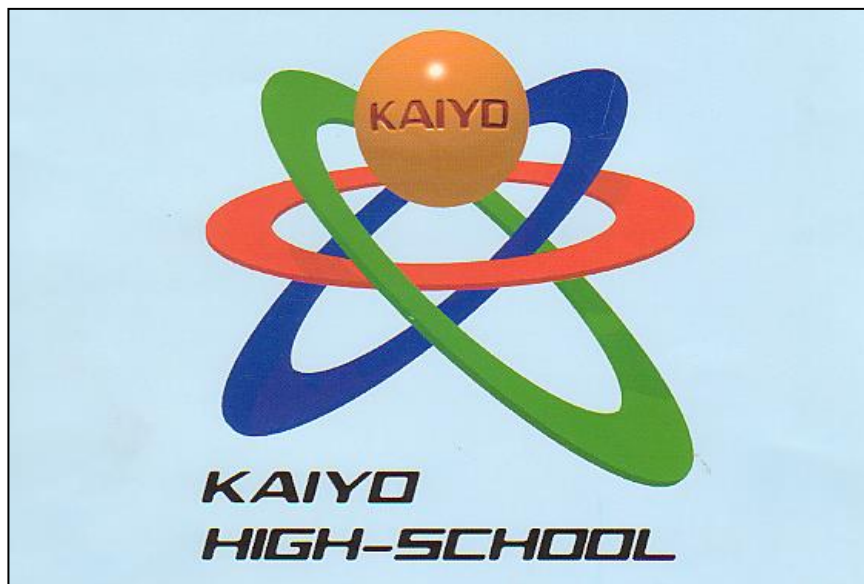
それは高齢者のためだけではありません。高齢者に優しい国、高齢者の住みやすい国になることは、あらゆる年代のあらゆる暮らしの人たちにとっても、安心できる住みやすい国になることだからです。そんな社会が実現してほしいのです。

そのために、私も行動したいと思います。貴学の人間福祉学科で、人と制度を結ぶコーディネーターである社会福祉士を目指したいのです。人間福祉学科の教育は、スウェーデンなど福祉先進諸国の事情を学ぶカリキュラムなどが充実していますし、少人数ゼミで指導が受けられます。私は、そうした教育を受けることで、自分の視野を広げ、深く考える力を身に付けることができると考えています。



「夢・実現」へのマニュアル

# 進学のための「面接」



鹿児島県立開陽高等学校  
全日制課程進路指導部編



## 1, 面接の意義・・・・求める学生像の中核的試験

学科試験の得点だけで合否を分ける一般入試が“非情入試”とすれば、面接を重んじる推薦入試はさしづめ“有情入試”と行ってさしつかえありません。パーフェクトに数値化できず、人間的な部分に合否を依存するところがあります。それは、人間（面接官）と人間（受験生）を評価するという面接試験には不可避の“カゲ”としてつきまといます。

学校推薦型選抜での面接の実施状況をまとめると、私立大は全体の78.3%、私立短大は全体の87.2%で、特に私立短大の実施率が際立っています。そして、国公立大・短大はほぼすべてが実施しています。これら面接実施の学校推薦型選抜では、どんなに調査書の成績が上位でも、面接の関門をクリアできる長所がなければ、合格は難しくなります。

それに、文部科学省が学力検査免除の徹底を求めて以降、学力試験に代わっていったんは小論文主流へ流れが変わったのですが、昨今の受験生はなぜか“論文嫌い”で、推薦離れ（志願減）の現象が広がりました。そのため、小論文すら廃止して、「書類+面接」だけのシンプルな選考法へ転換する私立大・短大が増加の一途をたどってきました。

大学側は、学科試験の得点だけで学生を選ぶことのデメリットは百も承知しています。しかし、多数の志願者・併願者が押し寄せる一般入試では、面接などきめ細かな選考の実施は物理的に不可能なのです。

そこで、学校推薦型選抜や総合型選抜では、選考の視点をがらりと変え「各大学の期待する学生像に限りなく近い人物を選ぶ」ことに照準を合わせています。その中核的手段として用いられるのが“面接試験”にほかなりません。

## 2, 面接のねらい・・・・第1志望の熱意が不可欠！！

国公立大と私立大とでは、面接の目的と内容にかなり差異があります。国公立大では、受験生の学問的な素質を重視し、教科学力や専攻分野に関連する適性・意欲などに関する口頭試問が主流を占め、1人当たりの面接時間は短いところで15～20分、長いところでは30分～60分を要します。

それに対して、多くの私立大・短大では、面接における最大要件は「第1志望としての入学熱意の確認」にあります。第1志望度のチェックが面接の最大のテーマだといえます。

次に「バイタリティや自主性の豊かな者」を望む私立大・短大が多いですが、これも面接を抜きにしては確認できません。自主性・バイタリティの有無は、大学生としての学問修得と人間形成に深く関わってくる要因です。

面接試験に対しては、志望熱意を中核として、個性的な能力や活動歴、あるいは大学生活への意欲・夢など、自己アピールのできる特性を必ず持つよう、心がけることが大切です。

### 3, 面接の実施形態 . . . . 国立大は討論型も目立つ

面接の実施形態は、①個人面接、②グループ面接、の2つに分かれます。私立大・短大では、個人面接の形態が、断然主流を占め、国公立大ではグループごとに討論型面接を実施するケースも相当数あるので注意が必要です。

まず、個人面接の概要ですが、受験生は1人、面接官は2人以上の複数というのが一般的です。ただ、一部には面接官が1人だけ、あるいは1対1の面接を2回行うダブル面接などもあります。

受験生1人当たりの面接時間は、5～10分程度が一般的です。ただ、基礎学力試験や小論文を課さないケースでは、面接で口頭試問を行う可能性が高く、若干長めの時間（15分～20分）を要します。

グループ面接は、内容により2タイプに分かれます。(1)3～5人単位の受験生に対して面接官が順次質問するタイプ。受験生同士の討論は行いません。(2)受験生グループに一定の課題（テーマ）を与えて討論させ、面接官は受験生各自の発言や態度に即して評価するタイプの2つです。

(2)のディスカッション型は、質問→応答という受動的な形ではある程度スムーズに答えられても、自主的な発言やいろいろな意見への対応を必要とするだけに、かなり難しい面があります。自分だけ発言量が多ければよいというものではなく、他者のあげ足を取るような発言も好ましくありません。このケースでは、他者の意見もじっくり聞き、丁寧に建設的な発言をするよう心がけるべきでしょう。

### 4, 頻出度の高い面接質問事項 . . . . 必出の試問は「志望動機」

当然の話ですが、面接でどのような事柄を聞かれるのか、まるで知らないまま本番に臨むのは禁物です。「わかりません」「覚えていません」では、大学入試としての面接試験をクリアできるはずがありません。

国公立大の面接は、全般的には学問的な素質や学力レベルをみる口頭試問が主流ですが、私立大・短大におけるポピュラーな質問・試問事項を整理すると、次の4項目になります。

#### (1) 本人に関する事柄

受験生本人の「学習興味分野」から「長所・短所」「健康状況」「趣味」などに関する質問がよく出ます。志望する学部・学科と学習の興味分野が食い違っていると、面接官に奇異な感じを与えてしまいます。自分の長所・短所についても、明確な答えを用意しておくのが望ましいです。自己推薦文を提出させるケースでは、その内容について確認する試問が必出です。

## (2) 高校生活に関する事柄

この項目では、高校時代の「課外活動歴」に関する質問の頻出度が高いです。個性的な能力を持つ学生、あるいは、学生生活を豊かに創造できる学生を望んでいることの反映でもあります。

次いで「出欠状況」や「得意・不得意科目」に関する質問が目立ちます。欠席日数とその理由は、必ず担任の先生に確認する必要があります。

## (3) 教養や一般常識に関する事柄

私立大では最も頻出度の低い項目ですが、時事的な社会問題に対する「意見・感想」や「印象に残った本」、志望学部・学科に関連する「専攻関連知識」などをたずねるケースはかなりあります。

このような類の試問には、ふだんの読書量や新聞などに目を通す習慣がモノをいいます。また、志望学部に関連する基本事項（法学部なら憲法の重要条文、工学部なら物理の法則など）は、学科試験と同じ心構えで正確に答えなければなりません。

## (4) 志望動機等に関する事柄

あらゆる面接試問の中で、私立大・短大が最も重視しているのが「志望動機（志望理由）」です。大学・短大の特色や建学理念、教育方針などを十分理解した上での志望なのかどうか面接官は入念にチェックするはずで、そして「入学後の抱負」や「卒業後の希望進路」においても、受験生の目的観や計画性が試されます。

## 5. 面接での注意事項

### (1) 入室・着席のマナーも要注意

個別・集団どちらの形式であっても面接当日はフォーマル・ファッション、つまり開陽の儀式の際のスーツを着用します。制服はなくても、それに準じる時と場に応じた正式な服装が求められます。その理由は「身だしなみ」＝「常識やルール」と判断されてしまうからです。

茶髪やマニキュアの類も禁物、面接官に不快感を与えるし、高校生活の規律に反する証拠を自らさらけ出しているのは、調査書の中身がどんなに立派でも、すべてゼロになってしまいます。礼儀を失しない、高校生らしい服装で試験に臨むのがよいでしょう。

次に、個人面接では“入室時のマナー”に注意しよう。ノックもせずに入り、あいさつもせず、勝手に腰を下ろす、こんなマナーでは、まず合格は絶望的です。入室の瞬間から面接試験は始まっているのです。

大学によっては、入室の前に面接の課題（テーマと資料）を提示するケースもあります。提示する課題は、大学・学部により様々ですが、短時間で要点を整理し、自分なりの意見や感想を準備してから面接に臨まなければなりません。この実施形態は、私立大でも若干あります。

## (2) 質問には明快に答える！

本番の面接では質問が次々に浴びせられます。面接官の口から「いや、私が質問しているのはね・・・」という言葉が何度も出るようでは、それは受験生が質問の核心を理解しないまま、無駄な答えをしているという危険信号です。受験生側は面接官が「何を知りたがっているか」を常に頭の中で整理しながら、明快な応答を心掛けねばなりません。

的を射た答えをすると、面接官にはそれが言語能力や頭脳の明晰さとして強く印象付けられ、評価を高める大きな原動力となります。そして、第1志望校に入学してベストを尽くそうとする熱意が、冷静な面接官の心にも十分通じるものであってほしいです。

## 進学のための「面接」の応答実例集

### 【志望動機】

#### Q1 あなたは、なぜ本校を志望したのですか。

A1 以前よりこちらの大学の「人間・教育」という教育理念に憧れていました。また、キャンパスが自然に囲まれていて良い環境で学べること、語学教育が充実していることなどが志望理由です。たくさんのOB, OGが様々なジャンルで活躍されているのも魅力的です。

#### Q2 あなたは、なぜこの学部を志望したのですか。

A2 今、日常生活において英語は必要不可欠なコミュニケーションの手段となっています。こちらの大学では英語を聞く力・話す力はもちろん、外国の文化や政治経済の面でも、日本と外国を比較するなど多角的に英語を学べることができると考え、志望しました。

#### Q3 本校を受験するための対策は何かしましたか。

A3 まず学校案内を隅々までじっくり読みました。その後キャンパスを見学し、実際に肌で学校の空気を感じました。また高校の先輩に会って、大学内の実状や面接での心構えなどを教えていただきました。

#### Q4 学校推薦型選抜入試を受けようと思った理由を聞かせてください。

A4 何よりもこちらの大学が私の第一志望だからです。学校推薦をいただくため、今まで高校の授業も部活動も頑張ってきました。そして、貴学で学ぶためにも、入学できる機会が多い方がいいと考え、学校推薦型選抜から受験しました。

#### Q5 本校にどんな印象を持っていますか。

A5 既存の概念にとらわれない、自由でのびのびとしているイメージを持っています。また、卒業後の進路が多岐にわたっているという印象があります。

#### Q6 本校の校風について感じたことを話してください。

A6 「国際人きたれ」というパンフレットの言葉通り、留学制度や語学教育施設などが充実していますし、先輩の方々も多方面で活躍されていると聞いています。まさしく「国際人」になるための大学だと感じています。

#### Q7 本校の良い点、悪い点について気づいたことを教えてください。

A7 幅広い知識や教養を身に付けることのできる教育方針が素晴らしいと思います。少し気になった点は、キャンパスが大変広いのにも関わらず、それぞれの棟の説明が分かりづらく感じました。

#### Q8 あなたは入学したら、どんなクラブ・サークルに入りたいですか。

A8 いろいろ体験してみたいのですが、学園祭で観て感動した「演劇サークル」が第一志望です。高校では吹奏楽部に所属していましたが、大学に入ったら新しいことにチャレンジしようと思っているからです。

#### Q9 入学後の抱負を聞かせてください。

A9 勉学やサークル活動を通して、いろんな人と出会い、自分の人間的な幅を広げたいです。そして、将来社会に出て何がやりたいのか、何ができるのかという自分の可能性を模索していきたいと思います。「短期留学制度」もぜひ体験してみたいです。

#### Q10 本校のほかに受験している大学はありますか。

A10 同系統の学部を、他に1つ受験しています。しかし、私の学びたいことがこちらの大学の専攻内容と合っているので、こちらが第一志望です。ですから、こちらの大学の結果が最優先と考えています。

**Q11 本校が不合格だった場合、どうしますか。**

A11 高校の先輩から聞いた話や、キャンパスを見学してみて学校の雰囲気がとても気に入っていますので、もし今回不合格でしたら、一般選抜を受験してもう一度頑張ってみます。

**【自己PR】****Q1 1分間で自己PRをしてください。**

A1 私は、集中力では誰にも負けないつもりです。高校時代は陸上部で、主に短・中距離をやっていました。この種目は、スタートの良否がタイムに直結します。ですから、スタート時の集中力が特に求められるのです。私は、集中力を高めるために週2回寺に通い、座禅を始めました。そのおかげで、競技の時だけでなく、いろんな大事な場面でも、あがることなく集中して臨むことができるようになりました。このような経験で得た集中力は、大学に入ってからも、また大学を卒業して社会に出てからも、生かせると思っています。

**Q2 面接の順番を待っている間、どんなことを考えていましたか。**

A2 面接でどんなことを聞かれるのかと考えていたら緊張してしまったので、気持ちをリラックスさせようと大学のイメージや、入ったらやってみたいことなどをいろいろ考えていました。

**Q3 あなたの長所について聞かせてください。**

A3 私は協調性があり、物事に対して粘り強くこなしていくタイプです。自分でやると決めたら、最後まで努力し続ける意思の強さには、自信があります。また小さいことにくよくよしない、万一失敗してもすぐ立ち直れるのがセールスポイントです。

**Q4 あなたの短所について聞かせてください。**

A4 積極性にやや欠けるところがありますので、高校時代は文化祭や体育祭の準備など、なるべく率先して動くようにしました。大学に入ったら、もっともっと積極的になって、友達も幅広く持ちたいと思っています。

**Q5 あなたの趣味はなんですか。**

A5 旅行です。といっても実際に出かけるわけではなく、時刻表を使って、目的地までの最長・短時間の2ルートを探し出し、双方のルートの運賃の差額を調べるのです。この趣味を始めて、物事をいろいろな角度から見ることができるようになったと思います。

**Q6 あなたの特技はなんですか。**

A6 サッカーです。現在も週2回のクラブ活動を通じて、仲間との親睦と体力の向上に努めています。試合時の攻撃の戦略を考えるのが好きで、チームのまとめ役も兼ねています。

**Q7 なにか資格を持っていますか。**

A7 英検2級を持っています。高校2年の時に資格取得して、自分のキャリアアップにつなげようと考えたからです。今後も漢字検定や数学検定など、様々な分野で挑戦していきたいと考えています。

**Q8 あなたはリーダーシップがあるほうですか。**

A8 私はリーダーシップを取るより、例えばクラスの副委員など、リーダーを補佐する役目のほうが向いていると思います。性格的にも目立つのは苦手なほうなので、裏方的な仕事が性に合っています。しかし、与えられた仕事は地味ながらコツコツとこなしていきます。

**Q9 対人関係には自信がありますか。**

A9 高校時代、部活動で部長を任されていたので、対人関係にもかなり自信がもてるようになりました。人間関係は何においても大切な要素なので、コミュニケーション能力をさらに培っていきたいです。

**Q10 あなたには、苦手とする人がいますか。**

A10 何事にも優柔不断な人です。例えば旅行を計画しても、出発ギリギリまで迷うような人です。これは周囲の人々に迷惑をかけるだけでなく、信頼を失う原因にもなると思います。実は私も以前は同じようなことをして友人に迷惑をかけたことがあるので、余計にそう思うのかもしれない。

**Q11 あなたのことを友人はどう見ていると思いますか。**

A11 小学校以来の親友からは、私は面倒見のよい人物と映っているようです。自分でも困った人を見れば、何か手助けできることはないかと考えたり、時には自分のことを後に回したりして手助けしたこともあります。

**Q12 あなたの友人にはどんなタイプの人が多いですか。**

A12 私の友人たちは、一様に陽気な性格です。しかし、友人たちをよく観察すると、ナイーブな面があって人一倍悩む傾向があるように思います。そういう私も、その傾向が多分にありますので、互いにアドバイスし合える関係を築きたいです。

**Q13 何かあったとき、友人に相談するほうですか、それとも相談されるほうですか。**

A13 どちらかというと、相談されるほうです。それはきっと私が交友関係が広いので、説得力あるアドバイスができるからではないかと考えます。互いに自分のこととして助け合えたらと考えます。

**Q14 あなたは人の面倒を見るのが好きですか。**

A14 好きです。私は人が困っているのを見ると黙ってられない性格なので、学校でも町の助けをあげたいと思ってしまうのです。世話好きなんですけど、お節介過ぎるところは直していこうと思います。

**Q15 あなたは協調性があるほうですか。**

A15 あるほうだと思います。現在、地域のボランティアの方々とともに河川に捨てられたゴミを回収しています。河川は広いので、ゴミ収集作業は多くの人々の協力が必要です。この体験は私に改めて協力の意味や大切さを教えてくれました。

**Q16 創造力はあるほうですか。**

A16 あると思います。私は、勉強の合間にSF小説を書いています。内容はとてもお話できるものではありませんが、無から有を生み出す作業を楽しんでいます。

**Q17 好奇心は旺盛なほうですか。**

A17 旺盛です。現在、エジプト人たちは何を食べていたのか関連の書物で調べています。そこで得た知識を友人に披露するので、友人たちは自分のことをエジプトオタクと呼びます。

**Q18 今あなたが興味を持っていることは何ですか。**

A18 パソコンです。今や情報社会ですから様々な方法で情報を得ることができるのですが、やはりインターネットは本当に沢山の情報があり、わからないこともいろいろ知ることができ、私にはなくてはならない情報源です。

**Q19 今までで一番感動したことは何ですか。**

A19 夏休みに、地域の老人ホームを訪れ、ご年配の方々と話したり、ゲームをしたりするな  
です。訪問最後の日に、親しくなった方から、お礼に愛用のボールペンをいただいたとき  
涙が出ました。

**Q20 どんなスポーツが好きですか。**

A20 サッカーの大ファンです。よくスタンドに観戦に行くのですが、個々の選手の動きだけ  
の動きもわかるので、次のプレーが予測できるのが面白いところです。今後もできる限り、  
スタンドに足を運ぼうと思います。

**Q21 あなたの将来の夢を語ってください。**

A21 高校の文化祭のクラス展示で鹿児島市の水路浄化事業について、取材から研究・発表したのを  
きっかけに、環境問題に非常に興味を持つようになりました。都市環境デザインの基礎を大学で学び、  
都市計画プロジェクトに携わり、世の中の役に立ちたいと考えています。

**Q22 最後に何か質問はありますか。**

A22 この大学については十分に研究させていただきましたので、特に質問することはありませんが、  
今日面接を受けて、さらに入学したいという意欲が湧いてきました。

**【高校生活】**

**Q1 あなたの得意科目は何ですか。**

A1 英語です。近所にアメリカ人の牧師さんが住んでいて、挨拶するうちに親しくなり、個人的に英会話を  
教えていただくようになってから英語が好きになりました。そのため、簡単な日常会話には自信が  
あります。

**Q2 あなたの不得意科目は何ですか。**

A2 数学です。高校の最初のテストで悪い点を取り、嫌いになりました。高校2年になってこれではいけ  
ないと思い、中学の教科書で基礎から勉強しなおしました。そのおかげで、現在でも不得意ですが、  
嫌いではありません。

**Q3 あなたの出身高校は、どのような特色を持っていますか。**

A3 自由・平等が校風です。一例を挙げると、制服はありませんし、上級生と下級生の上下関係もありま  
せんので、さんづけで呼び合っています。先生方も優しくフランクに私たちに接してくれます。

**Q4 部活動で得たものは何ですか。**

A4 バスケットボール部に所属していましたが、私たちが高1の時に創設したので経験者  
も少なく、試合成績も散々でしたが、楽しいことも辛いことも全て一から作り上げてい  
ったという部員仲間との友情は、かけがえのないものです。

**Q5 部活動で得たものは、これから生かせると思いますか。**

A5 部の方針について、仲間同士で意見が分かれたりはしましたが、全国大会という一つ  
の目標を持って、力をあわせて頑張ることができました。異なる意見を持った人と、上手  
くやっていくことをここで学びました。このことは、これからも大いに生かせると思います。



**Q6 あなたが高校生活で力を入れたことは何ですか。**

A6 部活動です。バレーボール部に入っていたのですが、なかなか試合に出してもらえず、それでも諦めず練習を続けていたら、2年生の夏やっとレギュラーになることが出来ました。その夏の県大会はベスト8まで進みました。

**Q7 高校生活で得たものは何ですか。**

A7 在学中は苦しいながらも勉強と剣道を両立させてきましたので、校内・校外にたくさんの友人を作ることができました。この経験は、良好な人間関係を築く上で必ずプラスになると思います。

**Q8 高校時代に何かボランティアをしましたか。**

A8 受験勉強と部活動で精一杯で、ボランティアの経験はありません。しかし、阪神大震災などのニュースを見て、自分も社会の一員として、できることから何かやらなければならないと思うようになりました。

**Q9 高校生活で一番印象に残ったことは何ですか。**

A9 高3のクラス対抗のバスケットボール大会です。みんなで1か月前から放課後に練習した成果が出て、見事優勝しました。部活動に所属していなかった私にとっては最大の思い出となりました。

**Q10 高校時代にアルバイトの経験はありますか。**

Q10 高校1年の時から夏休み・春休みは、親戚の食堂で皿洗いのアルバイトをしていました。アルバイトをして、お金を得ることの大変さを痛感し、無駄遣いをすることがなくなりました。

**Q11 アルバイトは勉強の障害になりませんでしたか。**

A11 事前に、アルバイト期間を夏休み中だけと決めていましたので、特に障害にはなりませんでした。自分で働いたお金の有り難さがわかって、かえってよい社会勉強になりました。

**Q12 最後に悔いのない高校生活でしたか。**

A12 はい、楽しかったです。ブラスバンド部に入って友人をたくさん作ることができ、充実した高校生活が送れました。とくに昨年の全国大会で準優勝したときには、部活動を続けていて本当によかったと思いました。

**【日常生活】**

**Q1 休日は主に何をして過ごしていますか。**

A1 野球部の出身なので、雨の日以外の休日は地域の少年野球部でコーチをしたり、試合の審判などしたりして楽しんでいます。ただ、最近では彼らが高度なプレーを簡単にマスターしてしまうので、教えることも少なくなってきました。

**Q2 平日の起床時間から睡眠時間まで、1日の生活スタイルを教えてください。**

A2 6時半頃に起きて朝ごはんを食べて、7時45分頃に家を出ます。自転車で15分くらいで学校に着きますから8時には教室にいます。授業は15時30分には終わりますが、部活動があるので、帰宅は19時前後です。夜は夕食・入浴をすませて23時に寝ます。

**Q3 新聞は毎日読んでいますか。**

A3 はい。朝、朝食を取ってから家を出るまでの短い時間ですが、なるべく毎日目を通すようにしています。その中で、大きな記事、気になった記事は、しっかり読むようにしています。

**Q4 新聞はどの面から読みますか。**

A4 1面から読んでいます。1面は、政治・社会・経済・文化のすべての分野で、前日に起こった最も重要な事件を取り上げており、1面を読んでおけば、とりあえず社会の大まかな動きを知ることができるからです。

**Q5 今、一番欲しいものは何ですか。**

A5 パソコンです。インターネットや電子メールを使って、知識を広げたり、自分を高めたりしていきたいからです。ただ、高価なので、両親にねだるには気がひけますので、自分でお金を貯めて買おうと思っています。

**Q6 流行や新しい話題に敏感なほうですか。**

A6 はい。好奇心旺盛ですから、新聞、雑誌、テレビ、本、インターネットなどあらゆる情報源を常にチェックしています。流行の中でも、自分の興味あることに関しては、さらに掘り下げて追求したりもします。

**Q7 最近見た映画で印象に残ったものがありますか。**

A7 この夏に上映していた「〇〇〇〇」が印象に残っています。サスペンス映画が好きなのと、大好きな監督の作品なので観に行ったのですが、テンポよい展開と意外な結末には、さすがだなあと驚かされました。

**Q8 パソコンに興味はありますか。**

A8 はい。普段からインターネットを楽しんだり、友人と電子メールのやり取りをしたりして楽しんでいます。ですから、基本的な操作にも自信があります。これからも、生活の中で積極的に活用していこうと考えています。

**Q9 日ごろのストレスをどう解消していますか。**

A9 最近では、ジョギングが私のストレス解消法です。普段でも週に2、3回は3Km程度走っていますが、嫌なことがあった時には5Km以上の距離を走ります。走っていると嫌なことが汗と一緒に体から出ていくような感じがして、走り終わってシャワーを浴びると、気分が爽快になります。

**【人生観】****Q1 最近、感動したことはありますか。**

A1 〇〇大震災の救助活動をテレビで見っていたのですが、瓦礫の下から子供が70時間ぶりに救助される場面は実に感動的でした。今後、私も何かの形でこのような時に手助けをしたいと思いました。

**Q2 今までで一番辛かったことは何ですか。**

A2 野球部に入って甲子園を目指していたのですが、練習中に怪我をしまい、せっかく掴んだレギュラーの座を外され、大会ではベンチに入ることもできなかったことです。自分の不注意とはいえ、こんなに辛いことはありませんでした。

**Q3 1週間の休みがあったら、どのように過ごしますか。**

A3 サイクリングが趣味なので、南九州近県をのんびり回ってみたいです。それもテントを持参して自炊しながら、目的地を限定せずにブラリと訪ねてみたいと思います。

**Q4 あなたが興味のある外国はどこですか。また、その理由は何ですか。**

A4 エジプトです。以前より、考古学に興味はあったのですが、最近テレビの特集を見て、ますます行ってみたい気持ちが強まりました。エジプトの遺跡を目の当たりに見聞したいと思います。それを第一段階として、今後さらに知識を深めていきたいからです。

**Q5 あなたはコンピュータ社会についてどう思いますか。**

A5 コンピュータの技術的進歩によって社会がますます変化し、人類の向上に大きく貢献するものになった一方、ハイテクによる諸問題をかかえているのも事実です。小学校からコンピュータ教育が実施されている今、頭や心の人間性の教育も忘れないようにしたいものです。

**Q6 高齢社会について、どう思いますか。**

A6 21世紀前半には65歳以上の高齢者が、全人口の4分の1を占めるといわれています。こうした高齢者の中には、健康で働く意欲を持っている人も多いと思いますので、シルバー事業団など既存の高齢者雇用の窓口をもっと拡大してもいいのではと思っています。

**Q7 環境問題で、あなたが出来ることは何ですか。**

A7 ゴミを出さないようにする、自然を大切にするなど、普段の生活の中で出来ることは思います。何十億年もかけて作られてきた環境を私たちが破壊したり、使い尽くしたりしてしまっているはずがありません。

**Q8 リサイクルや省エネルギーについて、どのように考えていますか。**

A8 リサイクルされるものを使う、物を無駄にしないなど、一人ひとりがやれることは小さいことかもしれませんが、常に意識することによって、資源は守られていくものだと思います。リサイクルや省エネは、現代人みんなの義務だと言ってもいいほどの大切な問題だと思います。

**Q9 現代の日本の社会について何か思っていることはありませんか。**

A9 高齢社会に伴い、介護に関する関心が高まっていますが、まだ一部分にしかすぎないと思います。ひとりひとりが、介護に関する問題をもっと身近に考えるべきだと思います。

**Q10 これから日本は国際的にどのような役割を果たすべきだと思いますか。**

A10 今まで経済面では、世界に貢献してきましたが、これからは核兵器の恐さを一番知っている国として核廃絶のリーダーシップをとったり、民族紛争の和平に当たったり、科学技術の先進国として環境問題に対する提案を行ったりなど、やるべきことはたくさんあると思います。

**Q11 あなたは、将来何をやりたいと思っていますか。**

A11 大学の英文科で学んだ知識を生かせる職業に就きたいと考えています。具体的にはジャーナリズム関係か、英語の教師になるかなのですが、どちらが自分に適しているか在学习中によく考えて決めたいと思います。

**Q12 人生で一番大切なことは何だと思いますか。**

A12 「成せば成る。成さねば成らぬ何事も」という言葉が好きで、どんな時もこの言葉を教訓に努力してきました。いつも努力を忘れずにこれからも頑張っていこうと思っています。

**Q13 あなたはどんな人間になりたいですか。**

A13 子供のころに、様々な困難にもめげず、不屈の闘志で克服した「〇〇〇」という伝記を読んで深く感動しました。私も彼女のような人に勇気を与えられるような人間になりたいといつも思っています。





## 学校推薦型選抜 進学面接事例

【鹿児島大学 工学部 先進 機械工学プログラム 学校推薦型選抜Ⅱ】

個人面接，面接官5人，面接時間10分

2017～2019 受験レポート（合格点数〈数学Ⅱ，物理〉133，134点）

- ① 自己PR
- ② どうして鹿児島大学なのか
- ③ 推薦は自分の意志か。（その理由）
- ④ 高校時代に頑張ったこと
- ⑤ 得意教科と苦手教科
- ⑥ 将来はどうするか
- ⑦ ものをつくったことはあるか
- ⑧ 物理は好きか。物理で苦手な分野は。物理で興味深い現象。物理で不思議な現象
- ⑨ 数学は好きか。
- ⑩ 機械工学科に入って何をしたいか
- ⑪ 最近気になる工学のニュースは。
- ⑫ 部活動で大変だったことと，その解決策

### ① 自己PR

私は、中学時代の不登校経験を踏まえて、高校では、鹿児島大学合格を目指し、懸命に学業に励んできました。その目標を達成すべく、自宅から片道2時間の距離を1日も休むことなく通学し、定期テストでは満点を取ることを自分に課し、実際に数学などで満点を取り、結果全ての教科で評定5.0を達成しました。それに加え、放課後は毎日学校に残り貴学合格に向けて、受験勉強に励んでいます。

また、校内ではHR委員、文化祭実行委員、体育祭実行委員として、リーダーシップを発揮し、校外でも検定取得やグレードアップゼミなどにできる限り挑戦し、学力追求を実践しました。これらの経験を生かし、大学では勉学に励み、チームで協力して研究を深めたいと考えます。

### ② どうして鹿児島大学なのか

私は、小型ハイブリッドロケットの研究をされているK教授のもとで、研究に携わりたいと強く考え、貴プログラムを志望しました。具体的には、推力不足を解消するための燃焼しやすい材料の加工・研究、高速フレーム溶射のロケット部品の応用などを行い、研究チームの一員として実用化に貢献したいと考えています。

そのため、射場の1つがある肝付町との密な連携、かつJAXAとの共同開発も盛ん

なこの研究室で開発に尽力したいと考え、志望しました。失敗にも屈しない精神力で研究に挑んでいきたいと思えます。

③ 推薦は自分の意志か。(その理由)

はい、そうです。どうしても貴学で学びたいと考え、入る機会が多い方がいいと考え、受験しました。

④ 高校時代に頑張ったこと

皆勤と評定平均5.0の取得です。実際に達成しました。また、HR委員や文化祭・体育祭も実行委員として、リーダーシップを発揮したことです。

⑤ 得意教科と苦手教科

得意教科は、数学と物理です。一つの問題に対して複数の解法で導き出すことが好きで、特に物理は数学の知識をより世の中の現象に落とし込んでいくことに興味を持ちました。

苦手教科は英語です。そこで、通学電車の中で英単語を暗記したり、文法や表現は積極的に先生に質問するなどして英検準2級取得まではこぎつけましたが、今後も努力し、大学の論文研究等につなげたいと考えています。

⑥ 将来はどうするか。

私は将来、JAXAや三菱重工といった場で、ロケットの研究・開発に携わりたいと考えています。人工衛星の打ち上げが欠かせないものとなっている現代、ロケットを飛ばすために、生産時間の短縮やコスト削減へ向けた研究・開発が重要だと考えています。

⑦ ものをつくったことはあるか。

燃料電池の自動車を組み立てて走らせる実験を行いました。その際、製作した自動車が走らず、原因を探ったところ、水素供給の配管に問題があると気づき、分解して成功させることができました。この実験を通して、理論として学んだことが、実生活に具体的に生かされていることを実感し、ものづくりの大切さに改めて気付きました。

⑧ 物理は好きか。物理で苦手な分野は。物理で興味深い現象。物理で不思議な現象。

私が気になった物理現象は、荷電粒子が磁場の影響で円運動をする現象です。物理の授業で電子線の円運動を実際に見て、興味を持ちました。

力学の運動方程式と電磁気学のローレンツ力により、円運動の周期が粒子の速度に関係のないことだ導出でき、それおを利用した1周3Kmもの加速器が作られ、原子核の衝突実験に使われていることを知り、とても関心を抱きました。

⑨ 数学は好きか。

一番好きな教科で、得意でもある教科です。

⑩ **機械工学科に入って何をしたいか。**

私は将来、JAXAや三菱重工といった場で、ロケットの研究・開発に携わりたいと考えています。そのため、まずは大学では、一般教養を深く学び、その後専門知識として流体力学を専攻しようと考えています。そして、小型ハイブリッドロケットや高連フレーム溶射研究に応用できる力をつけたいと考えています。

⑪ **最近気になる工学のニュースは。**

I 私が気になったニュースは、スペースXの手がける大型ロケットのファルコンタについてです。ロケットが発射された数分後に、ブースター部分が地面と垂直に帰還してくる映像を初めて見たとき、大変衝撃を受け、コスト削減への革命的な進歩だと感じました。また、その2日前に初の民間宇宙船のクルードラゴンの打ち上げが成功したことにより、ますますロケット産業が発展すると考えるので、そこに少しでも携わるためにもより一層学業に励みたいと思います。

II 私が気になるニュースは、世代大型ロケット、H3ロケットについてです。2021年度についに種子島から試験機が発射されると聞き、その柔軟性、高信頼性、低価格性に、今後の宇宙利用がますます増加する点で魅力を感じました。ただ世界的にみると、スペースXが手がけるファルコン9ロケットの再利用技術など、ますますロケット産業が発展すると考えるので、そこに少しでも携わるためにもより一層学業に励みたいと思います。